

## 第5学年国語科学習指導案

指導者

令和2年11月5日（木） 5校時

第5学年（男子18名 女子12名 計30名）

単元名 椋鳩十から受け取ったメッセージを交流しよう

「大造じいさんとがん」 椋 鳩十 （東京書籍 新しい国語 5年生）

【考え・基礎知識】  
中心人物の気持ちを、  
叙述を基に考えて読むこ  
とができる。

【つながり】  
人物の行動や情景描写  
などを結び付けて、中心  
人物の気持ちがどこで、  
なぜ、どのように変化した  
のか考えることができる。

【応用・ひろがり】  
人物の気持ちの変化を情  
景描写などに気を付けて読  
み取ったり、他の作品を読  
んで、根拠となる叙述から  
作者のメッセージを読み取  
ったりする。

### 1 単元設定の理由

#### ○ 単元について

本単元は、小学校学習指導要領国語第5学年及び第6学年の「C読むこと」の指導事項「エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。」及び、「カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。」を受けて設定したものである。

教材文「大造じいさんとがん」は、猟師である大造じいさんと、がんの群れを率いる「残雪」と名付けられた一羽のがんと何年にもわたる知恵比べの戦いの様子が、情景描写とともに描かれているものである。本教材は、四つの場面で構成されており、各場面には、残雪をとらえるために毎年色々な方法で迎え撃つ大造じいさんの猟師としての様子が、一年ごとに描かれている。そのため、時間の経過や場所の設定がつかみやすい構成となっている。始めは残雪を「たかが鳥」と思っていた大造じいさんが、その知恵と頭領らしい態度に心を打たれ、「がんの英雄よ」と言わせるまで心情が大きく変化する。細かな行動や情景が描かれているので、大造じいさんの狩りへの意気込みや残雪への気持ちの変化を読み取ることに適した教材である。また、それらを基にしながら椋鳩十のメッセージをとらえていくことに適した教材である。

#### ○ 児童について

本学級の児童は、1学期に「世界でいちばんやかましい音」で、時を表す言葉に着目して場面分けをし、物語の山場で中心人物であるギャオギャオ王子の心情がどのように変化していくかを、叙述を基に場面を比較して考える学習を行った。また、心情を考える際には、本文にサイドラインを引きながら考えるようにさせてきた。それにより徐々に読み取ることができるようになってきたが、まだ十分とは言えない。また、2学期には「注文の多い料理店」で、登場人物の心情の変化や、現実の世界と不思議な世界の境界を探る際に、「○ページの○行目に～と書いてあるので」という発表形式を意識させた。そのことで空想ではなく根拠をもって意見を言える児童が増えた。

レディネステストでは、次のような結果であった。

① 登場人物の気持ちを想像して読んでいる。	80%
② 登場人物の気持ちの変化を捉えて読んでいる。	67%
③ 登場人物の気持ちがなぜ変化したのかについて読んでいる。	47%
④ 登場人物の気持ちが情景描写に表れていることを捉えて読んでいる。	73%

これらの結果から、多くの児童が叙述を基に登場人物の心情を想像しながら読むことができていることが分かった。また、7割以上の児童が情景描写に隠された人物の心情を読み取ることができた。しかし、始めと終わりの心情の変化を読み取ることができた児童は7割を切り、さらにその理由について読み取ることができた児童は47%だった。その中でも複数の叙述を関連付けて読み取ることができた児童は2人しかいなかった。本学級の児童は、登場人物の心情が変化した理由を、直近の叙述や直接表現のみに着目して解答する児童がほとんどであり、複数の叙述を関連付けて読み取ること課題があることが分かった。

#### ○ 指導について

「リーフレットを書いて、椋鳩十のメッセージを伝えよう」という学習のゴールを設定する。11月に全校の生活目標となる読書の活動と関連付け、椋鳩十の作品の魅力を読んだことのない人に紹介するという目的のもと取り組ませることで児童の意欲を高めたい。初めて読む人に作品の魅力を伝えるためには、物語のあらすじをただ書くだけでなく、山場を捉えたり、人物の心情を暗示することのできる情景描写などの表現の効果を考えたりして読む必要があるため、単元を通して身に付けさせたい読む力につながると考える。また、リーフレットを書いて交流することで、友だちとの意見の類似点や相違点に気付くことから自分の考えを広げることにもつながると考える。

直近の叙述だけでなく、場面をまたいで複数の叙述を関連付けて考えられるように、「大造じいさんの残雪への心情はどのように変化したか」等の課題を設定し、「設定」「展開」「山場」「結末」を意識して物語全体を読むように指導していきたい。今回の単元では、度々出てくる情景描写も丁寧に取り扱いしていきたい。登場人物の行動や会話以外にも心情が想像できる表現があることに気付かせ、より深い読みをさせていきたい。描写に着目して大造じいさんの気持ちを丁寧に読み取り、読み取ったことについて自分なりに感じたことや考えたことをまとめ、友達との感じ方の共通点や相違点に気付かせたい。そして、物語から受け取った作者のメッセージをリーフレットにまとめ、伝える活動につなげたい。

#### ★ 学力の課題（要因）と考えられる手立て

	学力の課題（要因）	考えられる手立て
A	○登場人物の心情を読み取ることができない。 ・主述の関係が分からず、誰が何をしているのか分からない。地の文から登場人物の心情を想像できない。	・心情や心情の変化が分かりにくいときは、選択肢を与えたり自分と同化させたりして考えさせる。そのあと、その考えを根拠付けられそうな叙述を探させる。
B	○登場人物の心情の変化を理解することができない。 ・直近の叙述で想像することはできるようになってきたが、場面をまたいだり、複数の叙述を結びつけたりして、心情の変化を読むことは難しい。	・場面ごとに人物の心情を書き残させ、前の場面と後の場面を行き来し、常に人物の気持ちに変化しているか否かを意識させる。 ・着目して欲しい叙述を示してやり、人物の気持ちを考えやすくする。 ・設定、展開、山場、結末の分かれ目に線を引くなどの視覚的支援をし、人物の心情の変化を読み取りやすくする。

C	<p>○物語の場面の移り変わりを捉えることができない。</p> <p>・心情の変化と物語の展開を結び付けることが難しい。</p>	<p>・物語の全体像をまとめたワークシートを基に、「○○について考えるときはどの場面に注目したらいい？」と問い、関連する場面に注目させる。</p>
---	--	---

## 2 単元の目標

○語句と語句との関係を理解し、語彙を豊かにすることができる。

[知識及び技能(1)オ]

○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

[思考力, 判断力, 表現力等C(1)エ]

○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

[思考力, 判断力, 表現力等C(1)カ]

○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力, 人間性等」

## 3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①語句と語句との関係を理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ)	<p>①「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)</p> <p>②「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)</p>	①自ら進んで、登場人物の気持ちの変化について場面をまたいで叙述を基に考えたり、作者からのメッセージを読み取ったりしようとしている。

## 4 単元の計画 (全8時間)

次	時	学習活動	評 価				
			知	思	態	評価規準	評価方法
一	1	○「リーフレットを書いて、椋鳩十のメッセージを伝えよう」という学習の計画を立てる。	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の使い方に着目し、物語のおおよその内容を捉えている。</li> <li>言葉がもつよさを認識して、作者からのメッセージを読み取ろうとしている。</li> </ul>	ノート 発言
	2	○初発の感想を交流し、中心となる課題を設定する。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に意見を交流し、考えの共通点や相違点を意識して話し合っている。</li> </ul>	ノート 発言

二	3	○それぞれの年の作戦に名前を付け、あらすじを捉えることで物語の大切な内容を捉える。	○	・それぞれの年の大造じいさんの作戦を把握し、物語の展開を読み取っている。	ノート 発言
	4	○作戦ごとの大造じいさんの意気込みや残雪に対する心情を叙述を基に考える。	○	・叙述を基に、大造じいさんの意気込みや残雪に対する心情を読み取っている。	ノート 発言
	5	○始めの年と四年後の、大造じいさんの残雪に対する心情の変化を話し合う。 ○大造じいさんは今後どのように残雪と向き合っていくつもりか考える。	○	・大造じいさんの残雪に対する心情の変化を叙述を基に読み取り、話し合っている。	ノート 発言
	6	○作者である椋鳩十の伝えたかったメッセージは何かについて話し合う。(本時)	○	・複数の叙述を関連付けたり、情景描写などの表現の効果を考えたりして、作者からのメッセージを読み取っている。	ノート 発言
三	7	○作品から受け取ったメッセージをリーフレットにまとめ、交流する。	○ ○	・友だちの意見を聞いて、自分の意見との類似点、相違点に気付き、考えを広げている。 ・読み取ったメッセージを積極的に伝えようとしている。	リーフレット 発言
	8				

#### 5 本時の目標

- 作者からのメッセージを、複数の叙述を関連付けたり、情景描写などの表現の効果を考えたりして読み取ることができる。

[思考力, 判断力, 表現力等] C(1)エ

#### 6 本時の流れ (6時間目/全8時間)

学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点 (◇) 学力の課題(要因)に対する手立て (◆)	評価規準 〔観点〕 (評価方法)
1 本時のめあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           ㊦ 物語を読んで受け取った作者からのメッセージを交流しよう。         </div>	◆物語の展開が分かるワークシートを持たせておき、単元を通して大造じいさんの心情がどのように変化したのかを把握させておく。(A) ◆上記のワークシートに更に色分けをしておく。(B, C)	

<p>2 意見を全体で話し合う。</p>	<p>○【相手を認めることの素晴らしさ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たかが鳥」「忌々しく思っていた」から、「がんの英雄」「えらぶつ」と変化しているから。</li> </ul> <p>→その叙述からなぜそのメッセージを受け取ることができた？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・始めは残雪を上から目線で見ているような感じだけど、最後には対等なライバルのように見えていると思ったから。</li> </ul> <p>○【卑怯なことはしてはならない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お前みたいな偉物を卑怯なやり方でやっつけたかあないぞ」から、不意打ちで勝っても意味がないと、大造じいさんが残雪への向き合い方を考えているから。</li> </ul> <p>○その叙述から【プライドをもって生きることの大切さ】を感じた。</p> <p>○【正々堂々戦うことが大事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「俺たちはまた堂々と戦おうじゃあないか」「大きな声で呼びかけました」から、正々堂々と知恵比べをしたいという清々しい気持ちが読み取れるから。</li> </ul> <p>○【仲間を思い助ける勇気は素晴らしい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「残雪の目には人間もはやぶさありませんでした。ただ救わなければならぬ仲間の姿があるだけでした。」から、自分の身の危険よりも仲間を救うことを優先させていて頭領らしさを感じたから。</li> </ul> <p>○【プライドをもった生き方は素晴らしい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「爛漫と咲いた李の花がその羽に触れて雪のように清らかにはらはらと散りました」「晴れ晴れとした顔つきで見守ってました」から、卑怯なやり方を避けた大造じいさんの獵師としてのプライドを感じたから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事前に活動内容は伝えておき、本時までには自分の意見をもたせておく。</li> <li>◆物語を読んだ感想を考えさせ、どの叙述からその感想を抱いたか、そしてその叙述からどのようなメッセージを受け取れたかを段階的に考えさせる。(A)</li> <li>◆着目してほしい叙述をこちらから示し、その叙述からどのようなメッセージを受け取れるか考えさせる。(B, C)</li> <li>◇受け取ったメッセージを根拠付ける叙述と、その解釈も発表させる。</li> <li>◇友だちの意見を聞き、一つのメッセージでも、複数の叙述を関連付けて考えることができることを押さえる。</li> <li>◇自分の考えと比較し、類似点、相違点をノートに書き残させる。</li> <li>◇一つの叙述から別のメッセージを受け取ることも出来る事を実感させる。</li> <li>◆自分が受け取ったメッセージと似ている意見が出たら、どの叙述からそう考えているかに着目させる。そのことで自分の意見と人の意見の類似点、相違点について気付かせる。(A, B, C)</li> <li>◇情景描写にも注目させ、それが暗示していることやその効果などについても考えさせる。</li> <li>◇取り上げて深めたい意見が出た場合、児童の理解が不十分だと感じた場合など、適宜グループトークで考えを深めさせる。</li> <li>◆自分の意見を言うことが難しい場合は、友だちの意見をノートに書き残すように伝える。(A, B, C)</li> </ul>	<p>○作者からのメッセージを、複数の叙述を関連付けたり、情景描写などの表現の効果を考えたりして読み取っている。</p> <p>[思・判・表] (発言、ノート)</p>
----------------------	---	---	--

<p>3 本時のまとめをする。</p>	<p>㊦ この物語から、(プライドをもった生き方は素晴らしい) というメッセージを受け取った。</p> <p>「晴れ晴れとした顔つきで見守っていました」という叙述と、「爛漫と咲いた李の花がその羽に触れて雪のように清らかにはらはらと散りました」という叙述から《猟師としてのプライドで卑怯なやり方を避けた大造じいさんの晴れた心》が読み取れる。</p>		
<p>4 振り返りをする。</p>	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一つの物語から様々なメッセージを受け取ることができることが分かった。</li> <li>○自分と同じ意見も違う意見も聞いて、もっと色々な物語を読みたくなった。</li> </ul>	<p>◆まとめの書き方と対応したヒントカードを書かせておき、自分の考えを板書の番号と対応した括弧に書き込めるようにする。(B, C)</p>	

大造じいさんとがん

椋 鳩十文

④ 物語を読んで受け取った作者からのメッセージを交流しよう。

メッセージ

相手を認めることの素晴らしさ。

卑怯なことはしてはならない。

プライドをもって生きることの大切さ

正々堂々戦うことが大事。

仲間を思い助ける勇気のすばらしさ。

叙述

「たかが鳥」

「がんの英雄」

上から目線  
から対等に。

「お前みたいな偉物を卑怯なやり方でやっつけたかあないぞ。」

卑怯なやり方ではなく堂々と。

獵師としてのプライド。

「俺たちはまた堂々と戦おうじゃあないか。」

「ただ救わなければならぬ仲間の姿があるだけでした。」

自分の身の危険よりも仲間を救う  
頭領らしさ。

⑤ この物語から、(プライドをもった生き方は素晴らしい)というメッセージを受け取った。

「晴れ晴れとした顔つきで見守っていました」という叙述と、「爛漫と咲いた李の花がその羽に触れて雪のように清らかにはらはらと散りました」という叙述から《獵師としてのプライドで卑怯なやり方を避けた大造じいさんの晴れた心》が読み取れる。